

令和 7 年度新宿御苑大温室天窓ガラス（No. 1 6）交換工事

環境省自然環境局新宿御苑管理事務所

令和7年度新宿御苑大温室天窓ガラス（No.16）交換工事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

東京都新宿区内藤町1-1

2. 敷地面積

583.061.13㎡

3. 工事項目

大温室ガラス開閉窓交換 1式
・仮設工事
養生鉄板リース158枚（5'×20'×20'）2日間
耐鉄板FR溶接固定（FR-6.0×2.00×9 コーナール）4か所
足場組立 W3.600×H2.000 控組+単管 1式
ガラス仮置き用架台リース（伸び馬15日間）1式
・ガラス工事
天窓ガラス交換 1式

4. 工期

令和8年3月28日まで

5. 指定部分

・有 無 対象部分
指定部分工期 年 月 日

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下、「改修標準仕様書」という。）
・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下、「標準仕様書」という。）
・建築工事標準詳細図（令和7年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和7年版）

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

（3）本特記仕様書の表記
1）項目は、○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と□印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5）□印は、「図等による環境物品等の調達推進に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日閣議決定）に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。
6）「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、Excel・Wordファイルで作成し、提出する。

III 現場及び技術に係わる事項

1. 情報共有システム

※本工事は、情報共有システム利用対象工事である。
詳細は「自然公園等整備工事及び業務の情報共有システム運用要領（案）」による。
・本工事は、情報共有システム対象外工事である。

章

項目

特記事項

・既存部分の養生

1 一般共通事項

・適用区分

風速（V₀= m/s）
地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
・積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ ）
（1.3.5）[1.3.5]

・施工条件

（ ）
（ ）
・旅行順序
（ ）
・工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所
（ ）
（1.4.1）[1.4.1]

・環境への配慮

（1.4.1）[1.4.1]
（1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可燃性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む）
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとす。
（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
（1.4.2）[1.4.2]

・材料の品質等

（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑤すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料
（1.5.1）[1.5.1]

②石綿含有建材の調査

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着工に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う
貸与資料（大温室建築工事完成図）
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による
（1.5.9）（1.7.9）
（1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
（2）測定対象室及び測定箇所数等は下記による。
増工前の測定
・行う
・行わない
測定対象室
・図示による
測定箇所数
・図示による
（3）測定方法は、現場説明書による。
（4）測定結果の報告は、現場説明書による。
あと施工アンカー工事
6歳および8歳以上の
コア抜き、はつり工事等
※ 既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の量出を行う
範囲 ※図示による
・放射線透過試験
労働安全衛生法、「電磁放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
（1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
（2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
（3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
（4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
（5）躯体の量出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
増設枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm
（2.1.3）[2.1.3]

・騒音・粉じん等の対策

②足場等

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
◎設置する（設置範囲 ◎工事に必要な範囲・図示による・設置しない）
防護シート
・設置する（設置範囲：設置に必要な範囲・図示による・設置しない）
内部足場
・設置する（※ 鋼立、足場板等・図示による・設置しない）
・材料、撤去材等の循環利用可能なエレベーター（・図示による・設置しない）
埋め戻し：(特)可動な埋め戻し機・C埋・図示による・E埋

2 仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

②足場等

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
◎設置する（設置範囲 ◎工事に必要な範囲・図示による・設置しない）
防護シート
・設置する（設置範囲：設置に必要な範囲・図示による・設置しない）
内部足場
・設置する（※ 鋼立、足場板等・図示による・設置しない）
・材料、撤去材等の循環利用可能なエレベーター（・図示による・設置しない）
埋め戻し：(特)可動な埋め戻し機・C埋・図示による・E埋

・既存部分の養生

養生の方法等
・既存部分 養生の方法（※ビニルシート、合板）
・既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート等）
・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（※ビニルシート等）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動（・図示による）
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を受けた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所・図示による
仮設間仕切りの種別と材質等
種別 仕上げ（厚さmm） 塗装 充填材
・A種 ・セッコウボード
種類（ ）
厚さ（ ）mm ※(9.5mm) ・なし
・片面 グラスウール
厚さ mm
・B種 ・合板
材質（ ）
・合板（ ）mm ※(9.0mm) 防火シート
※C種 防火シート
仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等
材質 仕上げ 塗装 備考
※木製 ※合板張り程度 ・無し ・可所
・片面 ・図示による

仮設間仕切り

仮設間仕切り

3 防水改修工事

・施工数量調査

調査範囲・図示による
調査方法・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法・図示
調査報告書（提出部数：2部）
※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による
既存保護層の除去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
既存防水層の除去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去
・行う（※M4S・M4ASI・M4C・M4DI・L4X）
・行わない
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等・図示による
POS工法及びPOS工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の設置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸蹴の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による
（3.1.4）[3.2.3、4、6]
（3.2.6）
（3.2、2）[3.2、2、3]

・降雨等に対する養生方法（とく共）

・既存防水の処理

・既存下地の処理

・アスファルト防水

（3.4.2、3）
（3.3、2～5）

・改質アスファルトシート防水

調査範囲・図示による
調査方法・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法・図示
調査報告書（提出部数：2部）
※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による
既存保護層の除去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
既存防水層の除去
・行う（範囲・図示による）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去
・行う（※M4S・M4ASI・M4C・M4DI・L4X）
・行わない
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等・図示による
POS工法及びPOS工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の設置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸蹴の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による
（3.1.4）[3.2.3、4、6]
（3.2.6）
（3.3、2～5）

・改質アスファルトシート防水

（3.4.2、3）

改質アスファルトフingシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトフingシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトフingシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ ）mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
高業系パネル1種（厚さ（mm）幅（mm））
・レンガ押え（※JIS R 1250（ ））
・コンクリート押え
・モルタル押え
屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所 断熱材 □ 仕上塗料 高目射反射率防水 □ 備考
種類 使用量
・M4S ・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・M3D
・P0D
・P0D1
・M3D1
・M4D1
・D1-1
・D1-2
（厚さ）（mm）
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用する
・適用

[illegible]

	・ ガラスブロック	[5.14.5] <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>色調</th><th>目地幅 (mm)</th><th>伸縮調整目地位置 (mm)</th><th>防火性能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 180×180</td><td>・ 95</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 200×200</td><td>・ 95</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 壁用金属枠及び補強材 ※図示による ・ 石膏 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色(・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による ・ 形状 ・図示による ・ 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による ・ 工法 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 180×180	・ 95					・ 200×200	・ 95																																																																																		
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																													
・ 180×180	・ 95																																																																																																	
・ 200×200	・ 95																																																																																																	
	◎ ガラス用フィルム	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th><th colspan="2">記号</th><th rowspan="2">その他性能等</th></tr> <tr> <th>内貼り用</th><th>外貼り用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 日射調整フィルム④</td><td>・ SC-1</td><td>・ SC-2</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td><td>・ LE</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td><td>・ GI-1</td><td>・ GI-2</td><td></td></tr> <tr> <td>◎ ガラス反射防止フィルム</td><td>・ GD-1</td><td>・ GD-1</td><td>外貼飛散防止率b</td></tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td><td>・ SF</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 品質 JIS A 5759による	種類	記号		その他性能等	内貼り用	外貼り用	・ 日射調整フィルム④	・ SC-1	・ SC-2		・ 低放射フィルム	・ LE			・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2		◎ ガラス反射防止フィルム	・ GD-1	・ GD-1	外貼飛散防止率b	・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF																																																																								
種類	記号			その他性能等																																																																																														
	内貼り用	外貼り用																																																																																																
・ 日射調整フィルム④	・ SC-1	・ SC-2																																																																																																
・ 低放射フィルム	・ LE																																																																																																	
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2																																																																																																
◎ ガラス反射防止フィルム	・ GD-1	・ GD-1	外貼飛散防止率b																																																																																															
・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF																																																																																																	
6 内装改修工事	・ 改修範囲 [6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より四側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による [6.2.2] ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤ととも) ・ 下地モルタルとも(・図示による ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・自荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ・ [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚25mmを超える場合の処置 ※図示による) [6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(㉠)(㉡)による [6.5.2] ・ 製材 ④	・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> </tbody> </table> ・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td><td></td><td>※上小節 ・</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td><td></td><td>※小節以上 ・</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr> </tbody> </table> ・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>※1等 ・</td><td>※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※1等 ・</td><td>※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※1等 ・</td><td>※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・</td><td></td><td>・</td></tr> </tbody> </table> ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td>・</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>※A種 ・ B種 ・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・			※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・			※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・ B種 ・		・	見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・ B種 ・		・						・	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・			※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・			※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・			() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																													
		※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
		※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
		※2級 ・	※A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																													
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
					・																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																													
		※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
		※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
		※1等 ・	※10%以下 ・ A種 ・ B種 ・		・																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																													
		() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・																																																																																													
		() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・																																																																																													
		() 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種 ・	・																																																																																													

・造作用集成材 [6.5.2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け 材面	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の 適用
							※1等	・2等	・
							※1等	・2等	・
							※1等	・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の 適用	
		化粧薄板： 芯材：					※1等	・2等	・
		化粧薄板： 芯材：					※1等	・2等	・
		化粧薄板： 芯材：					※1等	・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の 適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・
				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の 適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下	・	・

・造作用単板積層材 [6.5.2]

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の 適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の 適用
			※14%以下	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の 適用
							・
							・
							・

・合板等 [6.5.2]

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の 適用
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※0-0以上	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の 適用
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※0-0以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [6]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の 適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード						
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ(mm)	
		※I3タイプ	※F又はW		※15	
・JAS 0360に基づく構造用パネル						
施工箇所	寸法(mm)					
・MDF						
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分	
・接合具等	[6.5.3]					
造作材の化粧面への釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭隠し						
鍍金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・(形状) 寸法: 材質)						
・接着剤	[6.5.3, 4]					
接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆						
・防湿・防蟻処理	[6.5.5]					
・薬剤の加圧注入による防湿・防蟻処理						
適用部材			保存処理性能区分			
			・K2 ・K3 ・K4			
・薬剤の塗布等による防湿・防蟻処理						
適用部材		処理の方法		薬剤の方法		
		※薬剤の製造所の仕様による		※JIS K 1571に適合に適合又は同等品		
・薬剤の接着剤への混入による防湿・防蟻処理						
適用部位 ()						
・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 ()						
・内部間仕切軸組及び床組み	[6.5.6]					
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※杉又は松 ・ ・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※杉又は松 ・						
・窓、出入口その他	[6.5.7]					
窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※吊元杵、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉						
・軽量鉄骨天井下地	[6.6.2～4]					
野縁等の種類 屋外（※25形・19形） 屋内（※19形・25形） 壁外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・図示による ・周辺部の端からの間隔 ・図示による 野縁の間隔 ・図示による 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該層において3箇所） ・（ ）箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積割型部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合（補強方法 ※図示による ） ・天井のふところが3.0mを超える場合 （補強方法 ※図示による ） ・天井下地に於ける耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ） （補強方法 ※図示による ）						
・軽量鉄骨壁下地	[6.7.3, 4] [表6.7.1]					
スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による スタッドの高さが5mを超える場合 ・図示による 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※標準仕様書6.7.4(5)による ・						
・ビニル床シート	[6.8.2, 3]					
種類の記号		色柄		厚さ(mm)		備考
※FS(複層ビニルシート)		・無地 ・マーブル柄 ・柄物		※2.0		
接合部の処理 ※熱溶接工法						

	種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																
・ ビニル床タイル [G]	※K1 (コボツションビニ床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	※2.0 ・ 3.0 ・	[6.8.2]																																																
	・ II (単層ビニ床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	・ 2.0 ・ ・																																																	
	・ FI (複層ビニ床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・																																																	
	・ FOA (置敷きビニ床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500 ・	・ 4.0 ・																																																	
	・ FOB (薄型置敷きビニ床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ ・	・ ・																																																	
・ 特殊機能床材	・ 帯電防止床シート 種類 () 性能 () 厚さ (mm) ・ 帯電防止床タイル 種類 () 性能 () 寸法 厚さ (×) (mm) ・ 視覚障害者用の床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による 種類 () 形状 () ・ 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ (mm) ・ 防滑性床シート 種類 () 厚さ (mm) ・ 防滑性床タイル 種類 () 寸法 厚さ (×) (mm)				[6.8.2]																																																
・ ビニル幅木	材質 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ※1.5以上				[6.8.2]																																																
・ ゴム床タイル	種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) (×)				[6.8.2]																																																
・ カーペット敷き [G]	・ 織じゅうたん <table border="1"> <thead> <tr> <th>編り方</th><th>バイルの形状</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット</td><td>・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット/ループバイル</td></tr> </tbody> </table> 色柄 ※模様のない無地 バイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別(・A種 ・ B種 ・ C種) 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th><th>n°イ長さ(mm)</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットバイル</td><td>・ 5~7</td><td>・ 全面接着工法</td><td>・ 適用する</td><td></td></tr> <tr> <td>・ ループバイル</td><td>・ 4~6</td><td>・ ガリバー工法</td><td>・ 適用しない</td><td></td></tr> <tr> <td>・ カット・ループ併用</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 下敷き材(グリッター工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第212号 呼び厚さ 8mm タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ・F☆☆☆☆ ・ タイルカーペット <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>総厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ ループバイル</td><td>※ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr> <tr> <td>・ カットバイル</td><td>・ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr> <tr> <td>・ カット・ループ併用</td><td>・ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr> </tbody> </table> タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ・F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・横様流し ・階段部分 ※横様流し ・市松敷き 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示による	編り方	バイルの形状	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット/ループバイル	バイル形状	n°イ長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する		・ ループバイル	・ 4~6	・ ガリバー工法	・ 適用しない		・ カット・ループ併用					バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考	※ ループバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・					[6.9.2, 3] [表6.9.1]
編り方	バイルの形状																																																				
・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット	・ カットバイル ・ ループバイル ・ カット/ループバイル																																																				
バイル形状	n°イ長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																	
・ カットバイル	・ 5~7	・ 全面接着工法	・ 適用する																																																		
・ ループバイル	・ 4~6	・ ガリバー工法	・ 適用しない																																																		
・ カット・ループ併用																																																					
バイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考																																																
※ ループバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																	
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																	
・ 合成樹脂塗料	種別	施工箇所	工法	仕上りの種類	[6.10.2, 3]																																																
	・ 厚膜型塗床材 弾性けわ樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																	
	・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材		・ 薄膜流しのペ工法 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 樹脂めり工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																	
	・ 薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																	
	塗料のホルムアルデヒド放数量 ・F☆☆☆☆																																																				
	公園名称	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所																																																			
	工事名称	令和7年度新宿御苑大温室天窓ガラス交換工事																																																			
	図面名称	建築改修工事 特記仕様書(その4)	竣工																																																		
	年月日		図面番号	/																																																	
	会社名		調査	設計																																																	
	事務所名		調査	設計																																																	

[illegible]

8 耐震 改修 工事 共通事項	・ 断熱・防震改修工事 [9.3.2~4]	8-1 鉄筋 工事	鉄筋の種類 [8.2.1] <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ S0295A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ S0345</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	・ S0295A			・ S0345			・			・			8-2 コンクリート 工事	コンクリートの種類 [8.1.3] コンクリートの類別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) [8.1.3][8.1.4][8.2.5][8.9.2] <table><tr><th>普通コンクリート</th><th>スラブ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 24</td><td>・</td><td>・ 2.3程度</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による <table><tr><th>軽量コンクリート</th><th>スラブ (cm)</th><th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>※ 21</td><td>・</td><td>・ 1種 ・ 2種</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による	普通コンクリート	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	・ 24	・	・ 2.3程度		・	・	・						軽量コンクリート	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所	設計基準強度 (N/mm ²)	※ 21	・	・ 1種 ・ 2種		・	・	・								・ 型枠 [8.2.7] せき板の材料及び厚さ ・ 合板(※12mm) [G] ・ 断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・ 図示による () ・ WKR工法用シートの使用 適用箇所 ・ 図示による () 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による () スリーブの材質・規格等 ・ 図示による () 型枠の加工及び組立 [8.7.8] シアコネクタをセパレーターとして使用 使用箇所 ・ 図示による () [8.21.8][8.23.5~7] 部位毎のコンクリートの打設工法の指定 <table><tr><th>補強工法</th><th>打設工法</th><th>部位</th></tr><tr><td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td><td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)</td><td>・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()</td></tr><tr><td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接断端フープ巻き工法)</td><td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)</td><td>・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()</td></tr><tr><td>・工法</td><td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)</td><td>・図示による() ・図示による() ・図示による() ・図示による()</td></tr></table> 鋼板巻き工法及び帯板巻き工法での型枠等 柱間及び柱脚の隙間の寸法 ・ 図示による () 柱間及び柱脚の隙間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・ 図示による () 補強後の仕上げ ・ 図示による ()	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接断端フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()	・工法	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・図示による() ・図示による() ・図示による() ・図示による()
	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考																																																																		
・ S0295A																																																																					
・ S0345																																																																					
・																																																																					
・																																																																					
普通コンクリート	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																																		
・ 24	・	・ 2.3程度																																																																			
・	・	・																																																																			
軽量コンクリート	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適用箇所																																																																	
設計基準強度 (N/mm ²)	※ 21	・	・ 1種 ・ 2種																																																																		
・	・	・																																																																			
補強工法	打設工法	部位																																																																			
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()																																																																			
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接断端フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()																																																																			
・工法	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3)	・図示による() ・図示による() ・図示による() ・図示による()																																																																			
・ 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による (品質・性能・試験方法は別表による) 工法 Ⅰ章 適用区分による風圧力の(・Ⅰ・Ⅰ.15・Ⅰ.3)倍の風圧力対応した工法 かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の移植期間 ※引渡しの日から1年 [9.5.2~5、9]	・ 鉄筋の定着 [8.3.4]	鉄筋の形状等 [8.2.2] <table><tr><th>種 類</th><th>種類の記号</th><th>鉄筋の形状、網目寸法、鉄筋の径 (mm)</th><th>使用 部 位</th></tr><tr><td>・ 溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 類	種類の記号	鉄筋の形状、網目寸法、鉄筋の径 (mm)	使用 部 位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				・ セメント [8.2.5] 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする) 適用箇所 ・ 高炉セメントB種 [G] 適用箇所() ・ フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()	・ 骨 材 [8.2.5] アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B	8-3 鉄骨 工事	・ 鉄骨製作工場 [8.1.5] 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ()グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場																																																		
種 類	種類の記号	鉄筋の形状、網目寸法、鉄筋の径 (mm)	使用 部 位																																																																		
・ 溶接金網																																																																					
・ 鉄筋格子																																																																					
	適用範囲：歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による 路床 路床の材料	・ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) [8.3.5]	最小かぶり厚さ ・ 図示による 軽量コンクリートを用いる場合 ・ あり 適用箇所() ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ あり 適用箇所() ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm	・ 構造体用モルタル [8.2.6] 構造体用モルタル 圧縮強度() フロー値() 構造体強度補正値 ※6N/mm² 適用箇所 ・ 図示による() セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] ・ シリカセメント 混和材料 ・ 混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4) (a) による ・ 混和材 混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4) (b) による	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者 [8.1.6]	・ 鋼 材 [8.2.8] <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所 (主要な部分)</th><th>規格</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる</td></tr></table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格			・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる																																																								
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規格																																																																			
		・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる ・ JISによる																																																																			
	(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行う ・ 行わない ・ 路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 ・ 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号・Ⅰ号) ・ 消石灰 (・特号・Ⅰ号) 添加量 ・ kg/m ³ (目標ORR ・ 3以上) 目標ORRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のORR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻³ cm/sec以上	・ 圧搾完了後の試験 [8.3.8]	超音波探傷試験 ※行う (全圧接部) 適用箇所 ・ 図示による() H12検査第1463号に適合する性能 ・ A級 種類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 埋部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 鉄筋相互あき ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 高力ボルト [8.2.9][8.13.2][8.14.2] 高力ボルトの種類 ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト																																																															
	試験 路床土の支持力比 (ORR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 現場ORR試験 ・ 行う ・ 行わない	・ 機械式継手 [8.3.8]	種類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 埋部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 鉄筋相互あき ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 普通ボルト [8.13.2](7.2.3) ボルト及びナットの材料 ・ 標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ボルトの強度区分は、A、B又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする ナットの規格は、JIS B 1181とする ナットの種類は、六角ナット・0とし、材料は鋼とする																																																															
	路盤 路盤の厚さ ・ 図示による 路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種類) ・ クラッシャーラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシャーラン [G] ・ 再生粒度調整砕石 [G] ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	・ 溶接継手 [8.4.3]	適用箇所 ・ 図示による() H12検査第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ・ 図示による() 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波探傷試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 普通ボルト [8.13.2](7.2.3) ボルト及びナットの材料 ・ 標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ボルトの強度区分は、A、B又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする ナットの規格は、JIS B 1181とする ナットの種類は、六角ナット・0とし、材料は鋼とする																																																															
8 耐震 改修 工事 共通事項	・ 適用範囲 [8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2] 改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接断端フープ巻き工法) ・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・連続縦横補強工事 ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制震改修工事 ・土工事及び地盤工事 既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () はつり出した鉄筋及び鉄骨の位置 ・ 図示による () 既存構造体コンクリートの目尻らしの程度及び範囲 ・ 既存柱、梁面 ・ 打増し面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を、全体にわたってつける ・ 既存壁 ・ 打増し面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を、全体にわたってつける 既存杭の撤去等 ・ 撤去範囲及び方法 ・ 図示による ()	・ 溶接継手 [8.4.3]	適用箇所 ・ 図示による() H12検査第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ・ 図示による() 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波探傷試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]	・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.13.2][8.14.2][8.20.5] ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 腐蝕面の処理方法 ・ プラスト処理 (表面粗度50μmR 以上) ・ りん酸塩処理 すべり試験の実施 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による腐蝕面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと																																																															
		・ 割製補強筋 [8.21.6][8.22.7]	形状 ・ スパイラル筋 種類の記号 ・ SR235またはSRW-P 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による	・ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) [8.7.8] ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm	・ 骨 材 [8.2.5] ・ 混和材料 [8.2.5]		公園名称 環境省自然環境局新宿御苑管理事務所 工事名称 令和7年度新宿御苑大温室天窓ガラス(No.16)交換工事 図面名称 建築改修工事 特記仕様書 (その他) 年月日 図面番号 会社名 図案 設計 事務所名 図案 設計																																																														

8-3 鉄骨工事	・アンカーボルト	(7.2.4) (7.3.2)	・構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ・標準仕様書表7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・図示による() 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ボルトの端部距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 端部距離及びボルト間隔)	・アンカーボルト等の 設置	(7.10.3)	8-6 連続繊維補強工事	・連続繊維シート	[8.2.13] [8.24.6]	◎その他	作業規定として、新宿御苑作業要領を遵守すること。 工事に伴う電気・水道は無償貸与とする。																																	
	・溶接材料	[8.2.10]	溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1) (2)による	8-4 あと施工アンカー工事	[8.2.4]		材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 ・図示による() 接合筋の種類、径、長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() ・接着系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・図示による() アンカー筋の種類 ・図示による() アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() 埋込み配管等の調査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により調査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる 試験方法 ※引張試験による引張試験 確認強度 ・図示による()	・接続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ 引張強度(含浸硬化後) ・() N/mm ² ヤング係数(含浸硬化後) ・() N/mm ² ・下地処理 ・ひび割れ部改修 範囲 ・図示による() 工法の種類 ・ ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・図示による() 連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による ・ 試験数量 ・図示による() ・付着強度試験 ※JIS A 9909(建築用仕上塗材)による ・ 試験数量 ・図示による() 補強工事後の仕上 ・図示による()			[8.24.7]																																
	・スタッド	[8.2.11]	種類等 <table><tr><th>呼び名</th><th>呼び長さ(mm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・16</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・19</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・22</td><td></td><td></td></tr></table>					呼び名			呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			8-5 グラウト工事	[8.2.12]	・土工事及び地業工事	[8.28.3]	材料及び工法 ・材料() 工法() ※改修標準仕様書表8.28.1による ・A種 適用箇所() ・B種 適用箇所() ・C種 適用箇所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用箇所() (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) [8.2.15] [8.28.4] [4.3.8] ・杭地業 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・図示による() 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・図示による() ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・図示による() ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・図示による() ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・図示による() 溶接部の確認 ・図示による() ・杭頭の処理 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() ・杭頭の中詰め材料 ・基礎コンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による 建て込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内 ・評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・図示による() [8.2.15] [8.28.4] ・砂利地業 材料 ・再生クラッシュラン ⑥ ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm 捨コンクリートの厚さ ※50mm コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² スランプ ※15cm又は18cm	[8.2.15] [8.28.4]																
	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																								
・16																																											
・19																																											
・22																																											
・製作精度	[8.13.3]	鉄骨の製作精度は、JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	8-7 耐震スリット新設工事	[8.25.2]	[8.12.4]	[8.25.2]	方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による() 既存撤去部の配管等の調査方法 ・鉄筋調査機(金属探知機)により調査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる 耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修	[8.25.2]																																			
・仮組	[8.13.10]	仮組を行う範囲 ・図示による()						8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																															
・溶接作業を行う 溶接技能者の 技量付加試験	[8.15.3]	試験の要領 ・図示による()	8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																																				
・溶接接合	[8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ・図示による() ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1) (a) (b) ②による						8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																															
・入熱・バス間温度の 溶接条件	[8.15.7] [8.15.10]	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																																				
・溶接部の試験	[8.15.12]	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の採取箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数						8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																															
・錆止め塗装	[7.3.3] [8.17.2、4]	塗料の範囲 ・耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1) (7)～(9)による ・図示による() 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類	8-8 土工事及び地業工事	[8.2.12]	[8.12.4]	[8.25.2]	[8.28.3]																																				
・耐火被覆	[8.18.2]～[8.18.8]	種類、材料、工法等 <table><tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>性能(耐火時間)</th><th>適用箇所(部位・部分)</th></tr><tr><td rowspan="4">・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・半乾式吹付けロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・湿式ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・耐火板張り</td><td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td>・高断熱ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>						種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール			・			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	・			・耐火塗料	・		
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																								
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																										
	・半乾式吹付けロックウール																																										
	・湿式ロックウール																																										
	・																																										
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																										
	・																																										
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																										
・ラス張りモルタル塗り	・																																										
・耐火塗料	・																																										

公園名称	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所		
工事名称	令和7年度新宿御苑大温室天窓ガラス(No.1.6)交換工事		
図面名称	建築改修工事 特記仕様書(その7)	図面番号	／
年月日		図面番号	／
会社名		図案	設計
事務所名		図案	設計

公園名称	環境省自然環境局新宿御苑管理事務所			
工事名称	令和7年度新宿御苑大温室天窓ガラス(No.16)交換工事			
図面名称	建築改修工事 特記仕様書(その7)	図面番号	/	
年月日		図面番号	/	
会社名		図案	設計	
事務所名		図案	設計	

部のみ該当

24 外装ユニット工事（追加項目）

① 特殊ユニットの区分と仕様

区分・名称 (図1105~1108参照)	仕様・工法
GR扉組立	一般部 図1200~1201
開閉パネル 図1202 ~1206	②点支持工法 (DPG) ※一般部と共通の部材は一般部の仕様準拠する
図1243	※特別室部には防虫ネット取付
図1207~1210	③点支持工法 (DPG)・エッジ支持工法 (EPG) ※一般部と共通の部材は一般部の仕様準拠する
図1211	④点支持工法 (EPG)・ガラスリブ工法 ※一般部と共通の部材は一般部の仕様準拠する
GW仕置	一般部

図1243

開閉パネル	②点支持工法 (DPG)	ユニット工法
※一般部と共通の部材は一般部の仕様準拠する		
・ガラス	：複層・合せガラス	（透明）
・DPG支持金物	：SUS	※SUS304以上の耐候性を有する部材とする
・ガスケット/パッカー	：EPDM-S	
・開閉パネルフレーム	：SUS	28仕上
・テンションロッド・受金物	：SUS	28仕上 ※ロッド端部材・受材はロストワックス
・アルミフレーム（周辺枠部）	：AL型材	A-2（着色電極酸化皮膜15μm以上）
・ヒンジ軸部・戸当り部	：SUS	28仕上
・ヒンジアーム	：ST	電気亜鉛めっき・亜鉛溶射
・ファスナー・ボルトナット	：ST	電気亜鉛めっき・亜鉛溶射
・正圧受・高圧調整ボルトナット	：SUS	28仕上
・正圧受・ゴム	：EPDM	

② ガラスの材料 (16.13.2)

ガラスの種別と厚さの表示

ガラスの種別	表示	厚さ
GR扉組立	図1105	1105 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
GR扉組立	図1211	1211 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
GR扉組立	図1108	1108 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
GR扉組立	図1220	1220 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
GR扉組立	図1221	1221 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
GR扉組立	図1223	1223 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
内装	図1233	1233 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
内装	図1238	1238 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
内装	図1236	1236 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）

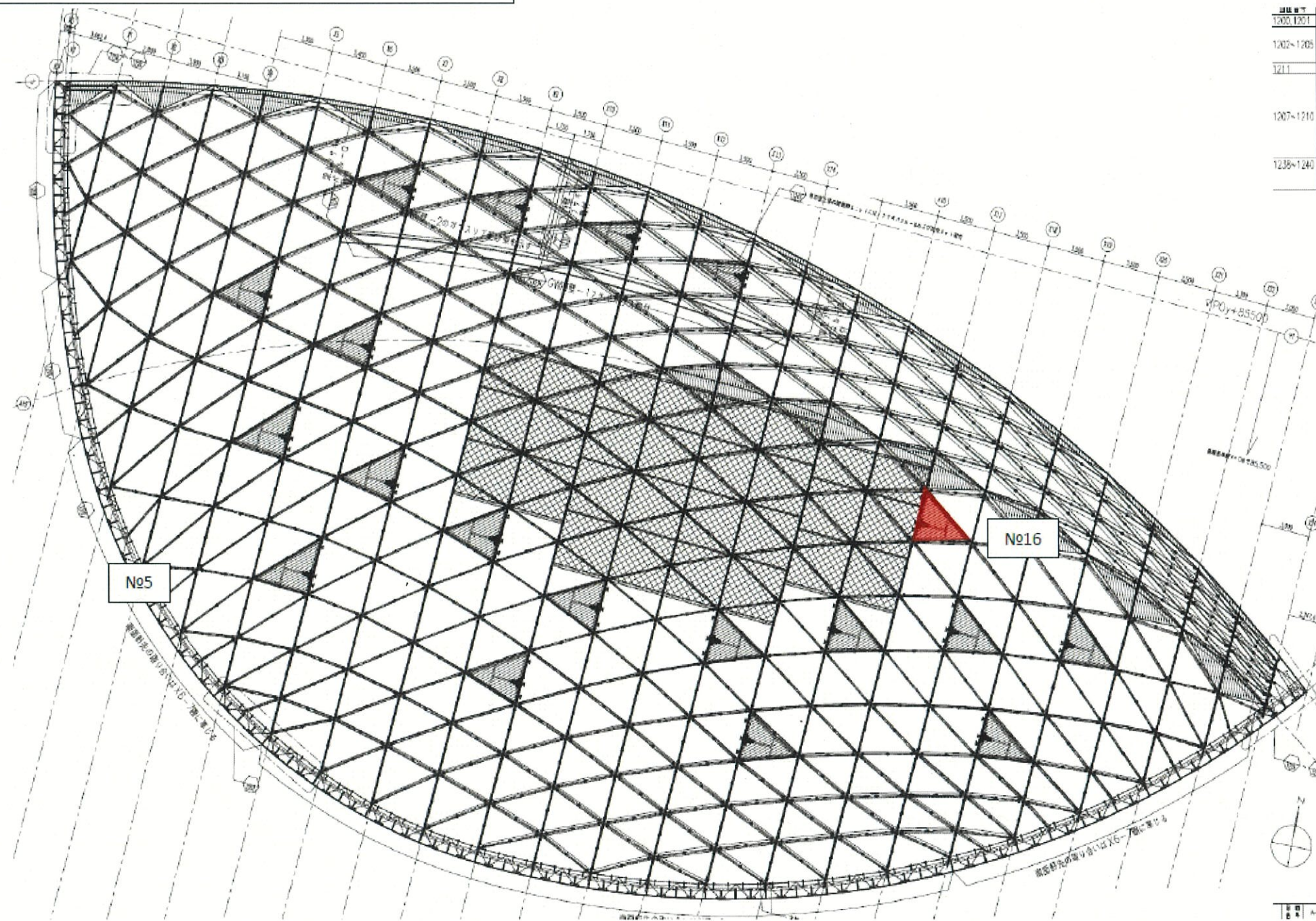
ガラスの種別

ガラスの種別	表示	厚さ
③点支持工法	図1202	1202 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
④点支持工法	図1206	1206 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑤点支持工法	図1207	1207 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑥点支持工法	図1210	1210 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑦点支持工法	図1211	1211 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑧点支持工法	図1212	1212 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑨点支持工法	図1213	1213 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑩点支持工法	図1214	1214 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑪点支持工法	図1215	1215 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑫点支持工法	図1216	1216 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑬点支持工法	図1217	1217 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑭点支持工法	図1218	1218 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑮点支持工法	図1219	1219 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑯点支持工法	図1220	1220 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑰点支持工法	図1221	1221 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑱点支持工法	図1222	1222 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑲点支持工法	図1223	1223 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑳点支持工法	図1224	1224 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉑点支持工法	図1225	1225 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉒点支持工法	図1226	1226 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉓点支持工法	図1227	1227 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉔点支持工法	図1228	1228 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉕点支持工法	図1229	1229 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉖点支持工法	図1230	1230 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉗点支持工法	図1231	1231 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉘点支持工法	図1232	1232 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉙点支持工法	図1233	1233 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉚点支持工法	図1234	1234 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉛点支持工法	図1235	1235 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉜点支持工法	図1236	1236 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉝点支持工法	図1237	1237 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉞点支持工法	図1238	1238 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉟点支持工法	図1239	1239 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊱点支持工法	図1240	1240 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊲点支持工法	図1241	1241 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊳点支持工法	図1242	1242 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊴点支持工法	図1243	1243 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊵点支持工法	図1244	1244 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊶点支持工法	図1245	1245 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊷点支持工法	図1246	1246 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊸点支持工法	図1247	1247 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊹点支持工法	図1248	1248 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊺点支持工法	図1249	1249 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊻点支持工法	図1250	1250 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊼点支持工法	図1251	1251 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊽点支持工法	図1252	1252 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊾点支持工法	図1253	1253 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊿点支持工法	図1254	1254 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）

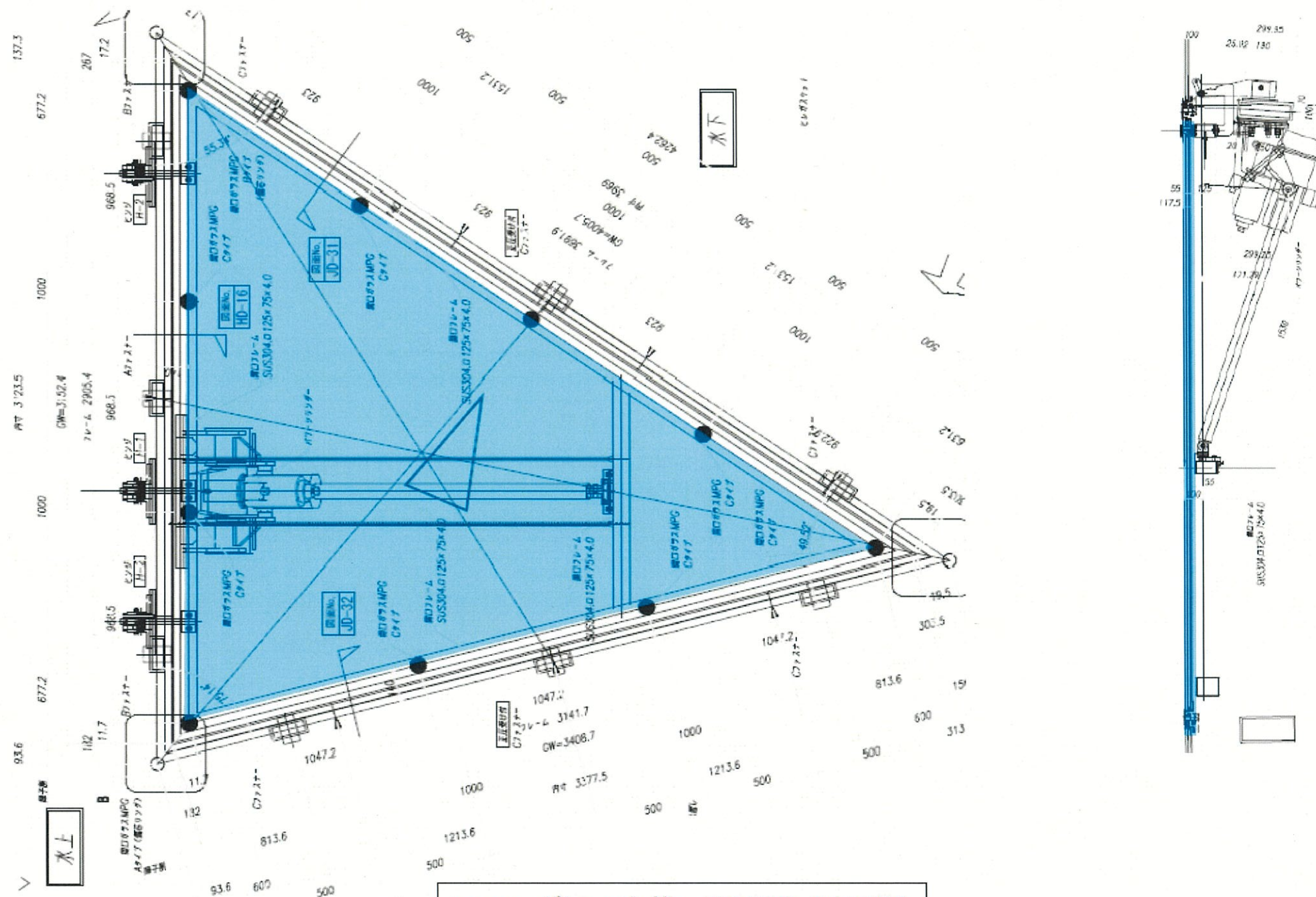
ガラスの材料

ガラスの材料	表示	厚さ
③点支持工法	図1202	1202 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
④点支持工法	図1206	1206 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑤点支持工法	図1207	1207 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑥点支持工法	図1210	1210 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑦点支持工法	図1211	1211 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑧点支持工法	図1212	1212 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑨点支持工法	図1213	1213 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑩点支持工法	図1214	1214 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑪点支持工法	図1215	1215 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑫点支持工法	図1216	1216 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑬点支持工法	図1217	1217 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑭点支持工法	図1218	1218 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑮点支持工法	図1219	1219 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑯点支持工法	図1220	1220 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑰点支持工法	図1221	1221 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑱点支持工法	図1222	1222 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑲点支持工法	図1223	1223 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
⑳点支持工法	図1224	1224 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉑点支持工法	図1225	1225 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉒点支持工法	図1226	1226 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉓点支持工法	図1227	1227 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉔点支持工法	図1228	1228 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉕点支持工法	図1229	1229 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉖点支持工法	図1230	1230 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉗点支持工法	図1231	1231 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉘点支持工法	図1232	1232 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉙点支持工法	図1233	1233 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉚点支持工法	図1234	1234 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉛点支持工法	図1235	1235 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉜点支持工法	図1236	1236 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉝点支持工法	図1237	1237 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉞点支持工法	図1238	1238 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㉟点支持工法	図1239	1239 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊱点支持工法	図1240	1240 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊲点支持工法	図1241	1241 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊳点支持工法	図1242	1242 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊴点支持工法	図1243	1243 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊵点支持工法	図1244	1244 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊶点支持工法	図1245	1245 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊷点支持工法	図1246	1246 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊸点支持工法	図1247	1247 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊹点支持工法	図1248	1248 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊺点支持工法	図1249	1249 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊻点支持工法	図1250	1250 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊼点支持工法	図1251	1251 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊽点支持工法	図1252	1252 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊾点支持工法	図1253	1253 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）
㊿点支持工法	図1254	1254 GR・GW扉組立（透明区分/ガラス種別）

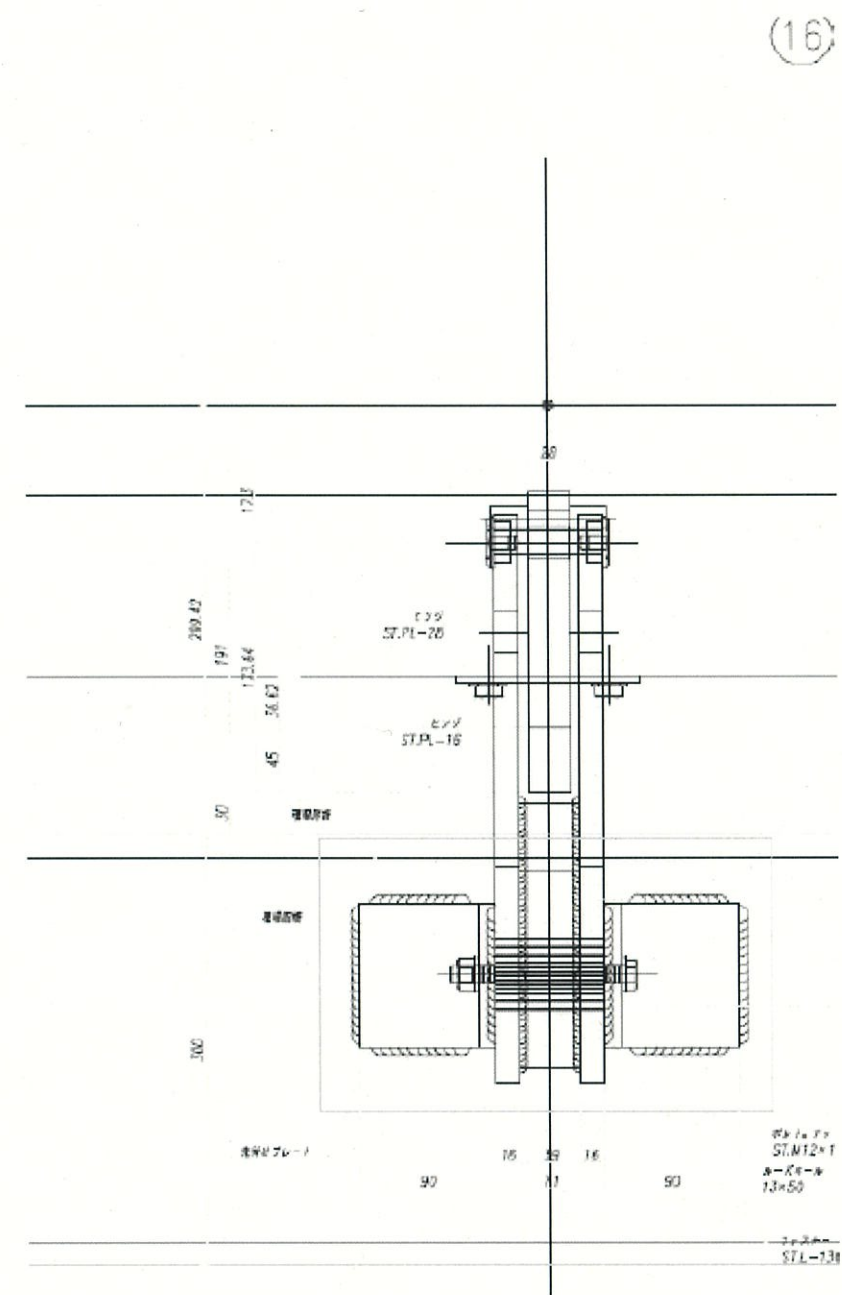
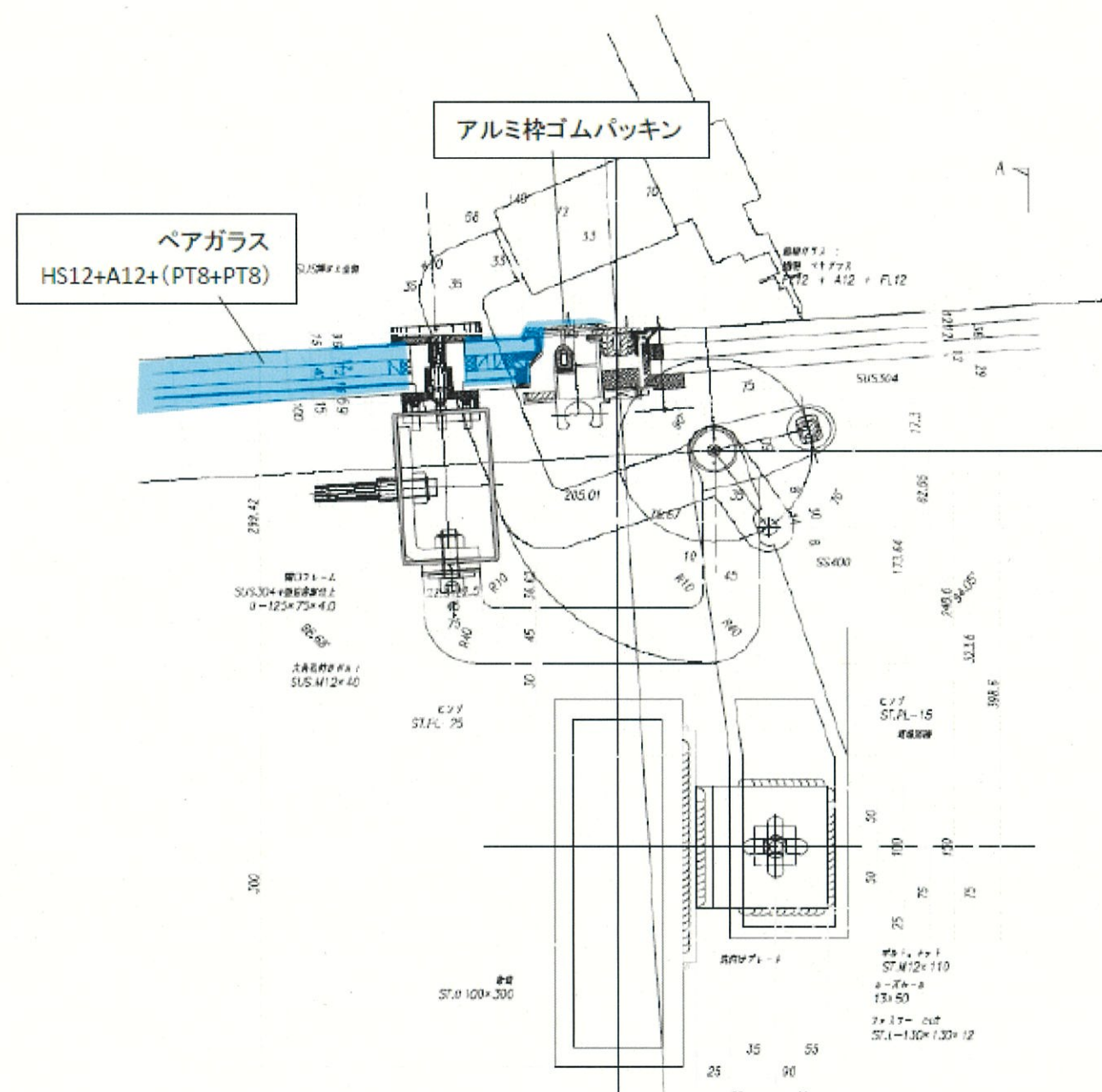
屋根換気窓ガラス交換場所



屋根換気窓ガラス交換詳細図



№16: ガラス交換 平面図・断面図



№16: ガラス交換 詳細図

特記仕様図面（想定工程表）

天窓ガラス交換(No.16)工事 工程表

	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	1日目 木	2日目 金
仮設工事													敷鉄板搬入、敷設	
誘導員													2人	2人

	3日目 土	4日目 日	5日目 月	6日目 火	7日目 水	8日目 木	9日目 金	10日目 土	11日目 日	12日目 月	13日目 火	14日目 水	15日目 木	16日目 金
仮設工事				敷鉄板搬入、敷設						25tラフター搬入				
			鉄板溶接	10t車4台/日(5×20鉄板:24枚)						架台地搬入				
ガラス工事										ガラス搬入		ガラスシーリング		
誘導員			2人	2人	2人	2人	2人			2人				

	17日目 土	18日目 日	19日目 月	20日目 火	21日目 水	22日目 木	23日目 金	24日目 土	25日目 日	26日目 月	27日目 火	28日目 水	29日目 木	30日目 金
仮設工事						足場材搬入				50tラフター搬入		足場材搬入 敷鉄板搬出		
						足場組立						10t車4台/日(5×20鉄板:24枚)	足場解体	
ガラス工事		ガラスシーリング(2回目)								ガラス取付	フィルム張り			
誘導員						1人	1人			2人	1人	1人	2人	2人

	31日目 土	32日目 日	33日目 月	34日目 火	35日目 水	36日目 木	37日目 金	38日目 土	39日目 日	40日目 月	41日目 火	42日目 水	43日目 木	44日目 金
仮設工事			敷鉄板搬出											
			鉄板撤去			産廃搬出								
誘導員			2人	2人	2人	2人								

誘導員 34人

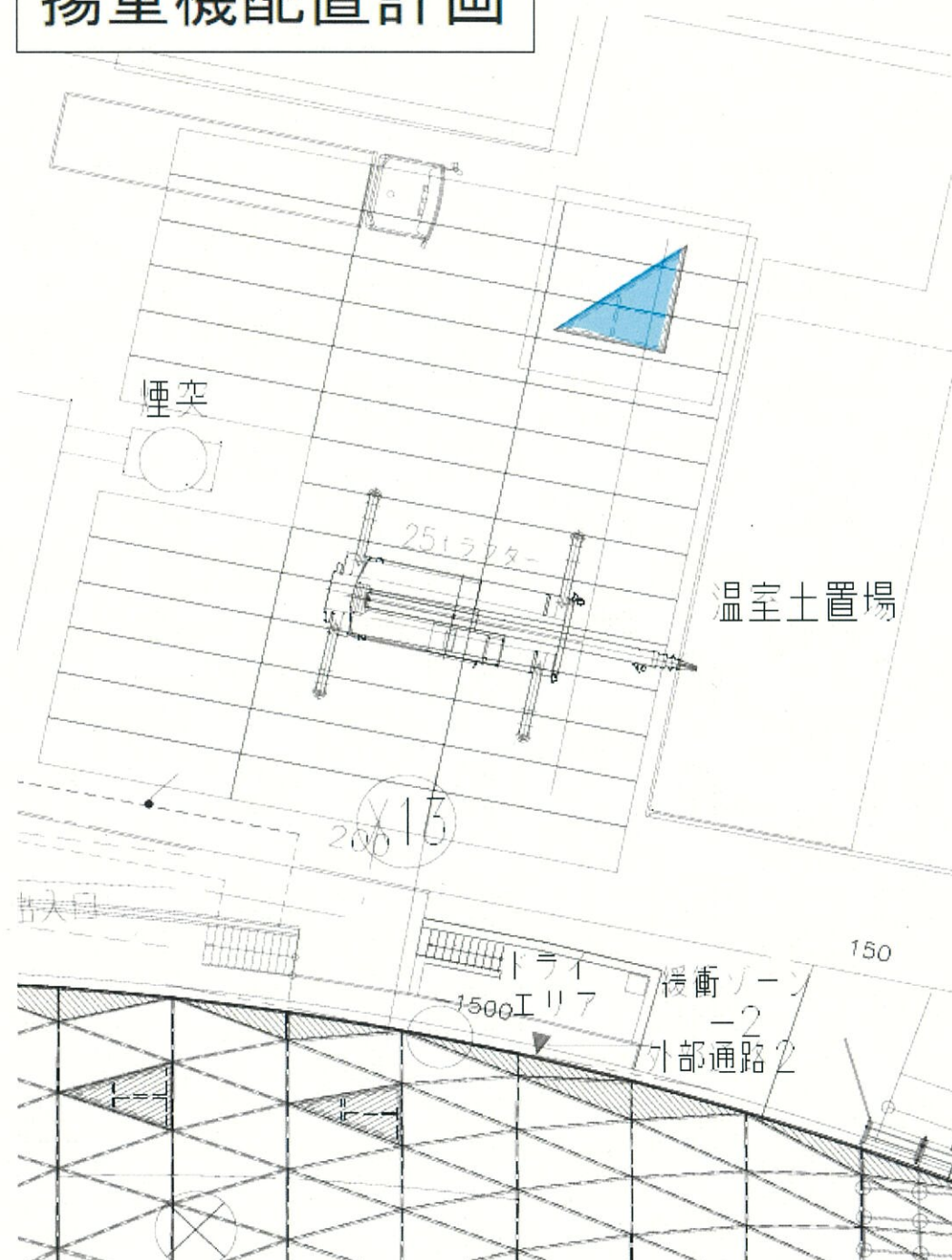
※管理門～国民公園協会管理事務所～新宿御苑管理事務所までの道路については、通年に園内の工事車両、新宿御苑管理事務所関係車両、国民公園協会事務所の関係車両、スタッフ等が出入りしているた

め、敷鉄板の設置については、監督職員と協議して、実際の日程を決定するものとする。

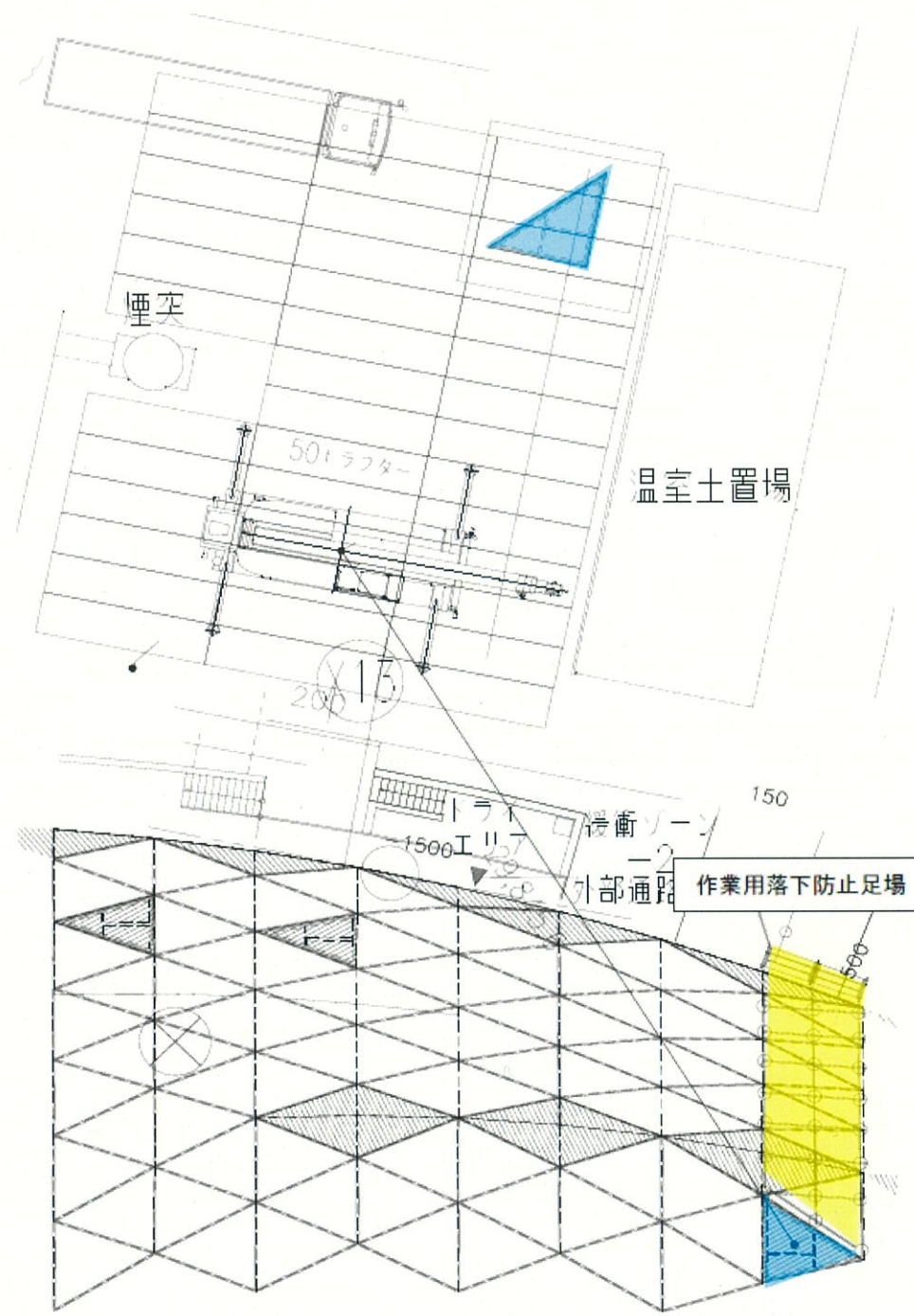
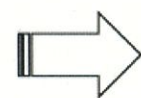
敷き鉄板配置図



揚重機配置計画

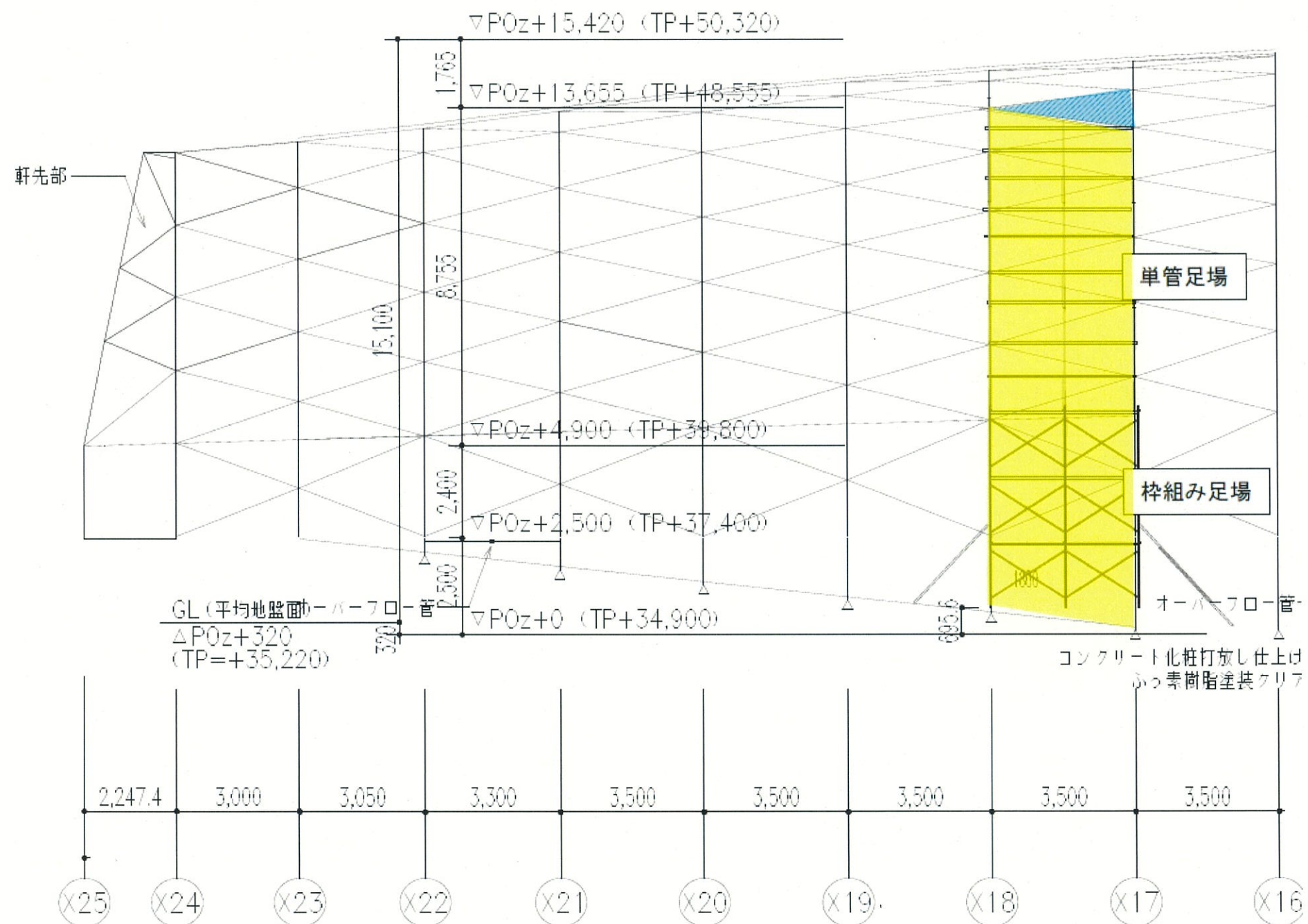


ガラス荷下ろし・組立



ガラス交換

作業用落下防止足場(立面図)



作業用落下防止足場(平面・断面図)

